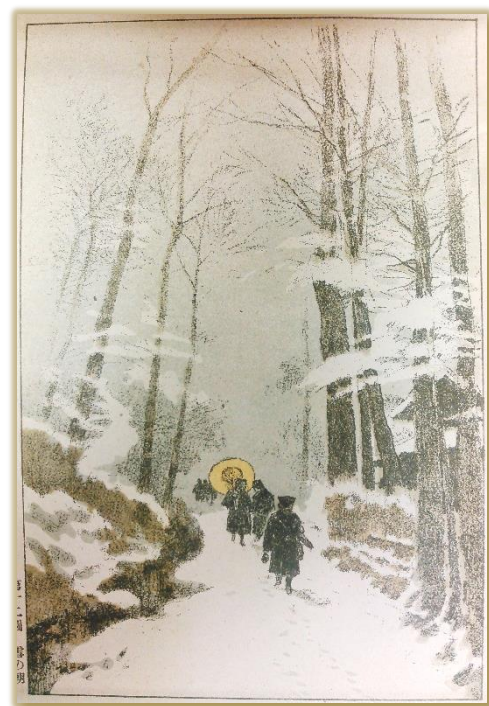
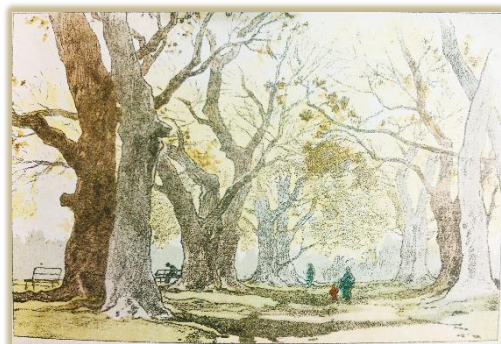


平成 28 年度 宮城教育大学附属図書館 特別展示企画

歴史のなかの教科書

美術



—美観は時代を映し出す

宮城教育大学附属図書館 展示ホール

8 月 1 日(月)～ 9 日(火) 平日 9 時～22 時 | 土日 10 時～17 時

8 月 10 日(水)～31 日(水) 平日 9 時～17 時 | 土日 10 時～17 時

(ただし、8 月 11 日(木)～17 日(水)は休館)

記念講演会 図画教育史における美観・再現性・説明性の論理

8 月 22 日(月) 13 時～14 時 30 分

講師 立原慶一(本学名誉教授)

宮城教育大学附属図書館 スパイラル・ラボ

問い合わせ 宮城教育大学附属図書館 022-214-3350

平成 28 年度 宮城教育大学附属図書館 特別展示企画

歴史のなかの教科書～美術～

美感 は 時代 を 映し 出す

8 月 1 日(月)～10 日(水)、18 日(木)～31 日(水)

● 展示概要

明治時代から現代までの美術教科書の歴史をたどりながら、学校教育の中の美術教育の位置付けや、日本人の美や美術・芸術に対する価値観の変化などを探ります。

第 1 部 明治時代—図画教育の出発と展開

明治時代の初期に美術教育がはじまり、それが日本に定着するまで、様々な試行錯誤がありました。その軌跡を当時の美術教科書に基づいて紹介します。

第 2 部 大正・昭和戦前期—自由画教育運動から戦時体制へ

大正時代には、子どもが表現したいものを重視する「自由画教育運動」が全国的な展開を見せます。しかし、昭和戦前期になると、美術教科書にも、時局に配慮した戦時的な題材が導入されるなどしていきました。自由主義的な教育から、戦時体制下での教育への転換を、美術の教科書によって跡付けます。

第 3 部 昭和戦後期・平成時代—生活・表現・鑑賞

戦後から現代に至る美術教育は、生活・実用重視、児童・生徒中心の教育、鑑賞学習の充実など、子どもを取り巻く状況・環境の変化に応じて、多様な展開を見せてきました。教科書を通じて美術教育の多様性の一端を紹介します。

第 4 部 教科書の中の名画

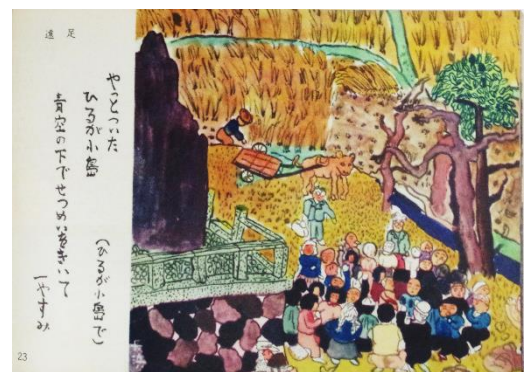
西洋絵画を中心に美術教科書に取り上げられた名画を紹介します。



「百合」(文部省『高等小学毛筆画手本』
第 3 学年女性用、明治 38 年 10 月文部省検査済)



「田舎の景色」(文部省『尋常小学鉛筆画帖』
第 6 学年女性用、明治 43 年 2 月文部省検査済)



「遠足」(日本児童美術研究会『小学図画工作』
第 6 学年、昭和 29 年 7 月文部省検定済)

宮城教育大学附属図書館

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149
TEL: 022-214-3350
E-Mail: toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp
<http://library.miyakyo-u.ac.jp/>

交通案内

- 地下鉄 東西線
 - ・「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車、
 - 「青葉山」駅下車(乗車時間 9 分、料金 250 円)
 - ・「青葉山」駅「北1出口」から大学正門まで徒歩 7 分